



小林 政広 Kobayashi Masahiro
立地環境研究領域

福島第一原子力発電所（福島原発）の事故によって放出された放射性セシウムは、広範囲の森林に降り注ぎました。森林は流域に暮らす人々を支える水源でもあることから、そこを流れる渓流水に放射性セシウムが含まれているのではないかと懸念されました。

そこで森林総合研究所では、2012年から福島県の森林で、渓流水に含まれる放射性セシウム（セシウム134、セシウム137）の濃度を調査してきました。その結果、渓流水には放射性セシウムがほとんど含まれていないことがわかりました。

福島原発の事故で放射性セシウムが降り注いだ地域の土壌の多くは、セシウムを強く吸着する粘土鉱物を含むため、放射性セシウムは土壌（粒子）にしっかりと保持されます。そのため雨が降っていないときに緩やかに流れる渓流水には放射性セシウムはほとんど含まれていません。

森の沢の水に 放射性セシウムは含まれているのか？

また、雨が森林内に降っても、土壌を通過する水には放射性セシウムはごくわずしか溶け出しません。

とはいえ、強い雨が降ると流量が増えて土壌粒子が流れ出し、渓流水は濁ります。土壌粒子には放射性セシウムが保持されているので、このときには放射性セシウムも土壌粒子と一緒に流れ出ます。

その場合でも、流れ出る土壌粒子は全体のごく一部であり、放射性セシウムの流出量も流域の土壌に貯まっている量の0.5パーセント以下と、ごくわずかであることがわかってきています。

（2018年1月19日開催講座より）



自動採水装置を用いた渓流水の採取
（雨が降ると1時間ごとに渓流水を採取する）

森林講座のお知らせ

2月15日（金曜日）
「樹木もストレスを受ける！？」
横田 智（樹木分子遺伝研究領域）

3月16日（土曜日）
「災害調査に使われる最新技術」
村上 亘（森林防災研究領域）

ご希望の講座名・郵便番号・住所・氏名・電話番号・参加希望者数をご記入の上、往復はがき、または電子メールでお申し込みください。なお、それぞれのお申込1通に対し、1講座3名までの受付とさせていただきます。

からだの特徴、生態、被害対策などについて紹介します。

◆お問い合わせ

〒193-0843 東京都八王子市廿里町 1833-81

多摩森林科学園

電話番号：042-661-1121

Email: shinrinkouza@ffpri.affrc.go.jp

会場●多摩森林科学園 森の科学館

時間●13時15分～15時

受講料●無料（ただし、入園料として大人300円、子供50円必要となります。）お申込の受付は各講座開催日の前月の1日から。受付は先着順で、講座開催日の1週間前が締切となります。

多摩森林科学園 森の科学館では企画展示を行っています。

企画展示（森の科学館）
「干支イノシシ」

期間●12月～2月
平成31年の干支の動物、イノシシの



◀電子メール送付先
二次元バーコード